35010714 ver.02 2-01 C10-015

外付 DVD ドライブ

BUFFALO

らくらく！セットアップシート

- Step.1 パソコンに接続する
- Step.2 ディスクの再生や書き込みなどに必要なソフトウェアをインストールする
- Step.3 転送速度を最適化する
- 完了

本紙は、本製品のセットアップ手順を説明しています。以下の手順で、セットアップを行ってください。

パッケージ内容

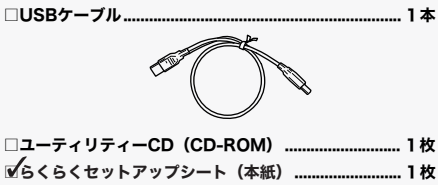
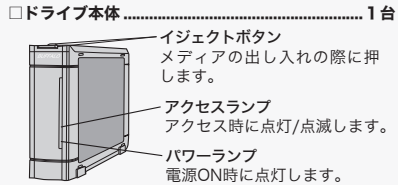
万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

□ドライブ本体 1台

- イジェクトボタン：メディアの出し入れの際に押します。
- アクセスランプ：アクセス時に点灯/点滅します。
- パワーランプ：電源ON時に点灯します。

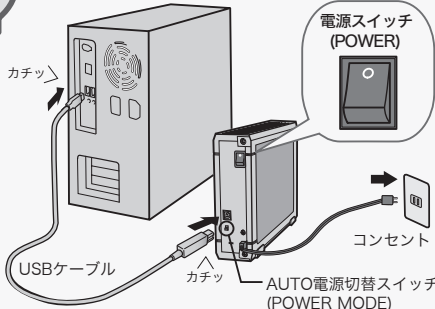
□USBケーブル 1本

□ユーティリティーCD（CD-ROM） 1枚

☑らくらくセットアップシート（本紙） 1枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

Step.1 パソコンに接続する

パソコンの電源をONにしてWindowsを起動し、付属のUSBケーブルをパソコンに接続します。
本製品を、パソコンに接続すると、OS標準のドライバーが自動的にインストールされます。

1. パソコンの電源をONにしてWindowsを起動します。
2. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続し、電源をONにします。
3. USBケーブルをパソコンと本製品へ接続します。

AUTO 電源切替スイッチの設定 (POWER MODE)

AUTO：電源スイッチが「ON」の場合、パソコンの電源に連動して自動的に電源の ON/OFF が切り替わります。

MANUAL：本製品の電源スイッチで電源を ON/OFF できます。パソコンの電源には連動しません。

※パソコンによっては、パソコン本体の電源を OFF にしても本製品の電源が OFF にならないことがあります。その場合、AUTO 電源切替スイッチを「MANUAL」にして、本製品の電源スイッチで ON/OFF を切り替えてください。

チェック

コンピュータ（マイコンピュータ）に以下のアイコンが追加されましたか？
アイコンが追加されていない場合は、本製品の電源がONになっているか、USBケーブルや電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

Windows 7/Vistaの場合
Windows XPの場合
Windows 2000の場合
※まれにパソコン(Windows)のレジストリー情報が破損しているためにアイコンが表示されないことがあります。その場合は、弊社ホームページ(buffalo.jp)の検索ウィンドウに半角で「BUF18242」と入力し、検索ボタンをクリックしてください。対策方法をご案内しています。

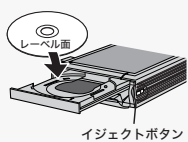
Step.2 ディスクの再生や書き込みなどに必要なソフトウェアをインストールする

ディスクの再生や書き込みなどに必要なソフトウェア「CyberLink DVD Suite」をインストールします。ディスクの再生や書き込みなどは、このソフトウェアを使用します。必ずインストールしてください。CyberLink DVD Suiteの詳細は、裏面を参照してください。

1 ユーティリティーCDを本製品に挿入します。

＜横置きの場合＞

＜縦置きの場合＞

イジェクトボタン
レーベル面

※ディスクホルダー2箇所の間にディスクをセットしてください。

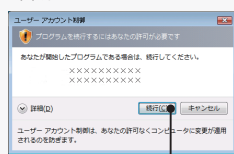
注意

以下の画面が表示されたら？（Windows 7/Vista のみ）
ユーティリティー CD をセットすると、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、以下の箇所をクリックしてください。

[DriveNavi.exe の実行] をクリックします。

[はい] または [続行] をクリックします。

2 [かんたんスタート] をクリックします。

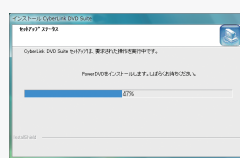
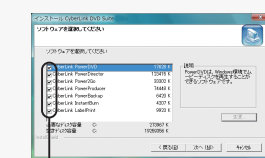
3 [CyberLink DVD Suiteのインストール]をクリックします。

4 インストール画面が表示されますので、画面に従ってインストールします。

注意

●ソフトウェア選択の画面が表示されたら？

全てにチェックされていることを確認します。
※画面は、お使いのパソコンによって異なることがあります。

●インストールに数十分程度かかります。

上の画面のまま停止しているように見えることもありますが、そのままお待ちください。

●ユーザー登録の画面が表示されたら、ユーザー登録を行ってください。

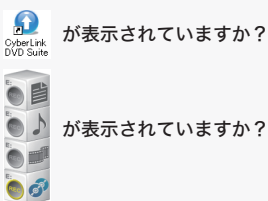
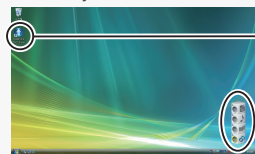
インストールが完了したら、画面に従ってパソコンの再起動をしてください。

チェック

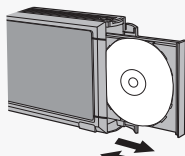
デスクトップにCyberLink DVD Suiteのアイコンが表示されていますか？
CyberLink DVD Suiteが正常にインストールされると、デスクトップに以下のアイコンが表示されます。表示されない場合は、パソコンを再起動してください。それでも表示されない場合は、CyberLink DVD Suiteを再インストールしてください。

CyberLink DVD Suite が表示されていますか？

が表示されていますか？

Step.3へつづく

Step.3 転送速度を最適化する

本製品の転送速度を最適化する「TurboUSB機能」を有効にし、本製品の性能が最大限発揮できるようにします。TurboUSB機能を有効にしないと、書き込み速度が制限されることがありますので、必ず有効にしてください。

1 ユーティリティーCDを本製品にセットし直します。

1. イジェクトボタンを押して、トレーを出します。
2. CDを入れたまま、トレーを戻します。(イジェクトボタンを押します)

※ Windows 7/Vista の場合、自動再生の画面が表示されたら[DriveNavi.exe の実行]をクリックしてください。また、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

2

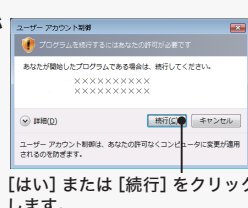
[オプション]をクリックします。

3 [TurboUSBを有効化します] をクリックします。

4 画面の指示に従って、TurboUSB設定ユーティリティーをインストールします。

注意

インストール中に以下の画面が表示されたら？（Windows 7/Vista のみ）
TurboUSB設定ユーティリティーのインストール中に右の画面が表示されることがあります。その場合は、［はい］または[続行]をクリックしてインストールを続行してください。

[はい] または [続行] をクリックします。

5 [スタート]ー[（すべての）プログラム]ー[BUFFALO]ー[TurboUSB]ー［TurboUSB for XXXXX］を選択します（XXXXXは本製品の製品名です）。

[TurboUSB for XXXXX]をクリックします。

6

[有効] をクリックします。

注意

「対象となるデバイスが接続されていません」や「TurboUSB機能を有効化できませんでした」と表示されたときは？
付属ソフトウェアのインストール後に再起動していないか、本製品が正しく接続されていない可能性があります。[OK]をクリックして画面を閉じた後、パソコンを再起動してください。パソコンの再起動後、本製品が正しく接続されているか確認し、再度手順5から行ってください。

7 「TurboUSB機能を有効にしました。パソコンを再起動します」と表示されたら、[再起動]をクリックします。

メモ

TurboUSB機能の設定を変更する場合や、設定の確認を行う場合は、裏面の「TurboUSBについて」を参照してください。

チェック

■Windows 7の場合
裏面を参照して、TurboUSBが有効となっているか確認してください。

■Windows Vista/XP/2000の場合
タスクトレイのアイコン( )をクリックしたときに、表示されるメニューに「TurboUSB」の文字が入っていますか？
表示されていない場合は、TurboUSBが有効になっていません。TurboUSBが有効になっていないと、書き込み速度が制限されることがあります。Step.3の手順を再度行って有効にしてください。

「TurboUSB」と表示されていますか？

以上で完了です。

ディスクの再生や書き込み、映像の編集などには、CyberLink DVD Suite使用します。下記に記載の「使いかた」をご参照ください。

画面で見るマニュアルの読み方

ユーティリティー CD には、本製品のマニュアル（PDF ファイル）が収録されています。必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の手順で表示できます。

1. ユーティリティー CD を本製品にセットします。
   ※ Windows 7/Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[DriveNavi.exe の実行] をクリックしてください。また、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。
   ※ドライブナビゲーターが起動します。起動しないときは、ユーティリティー CD 内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。
2. [マニュアルを読む] をクリックします。
3. 表示したいマニュアルを選択し、[開始] をクリックします。
   ※画面で見るマニュアル（PDF ファイル）を読むには、Acrobat Reader または Adobe Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合や、画面で見るマニュアルを正常に表示できない場合は、手順❸の画面から「Adobe Reader のインストール」を選択して Adobe Reader をインストールしてください。
   ※ Acrobat Reader または Adobe Reader の使いかたは、ヘルプを参照してください。
   ※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

Q&A（困ったときは）

ユーティリティー CD には、本製品の Q&A が収録されています。分からないことがあったときや、困ったときにご覧ください。Q&A は以下の方法で表示できます。

1. ユーティリティー CD を本製品にセットします。
   ※ Windows 7/Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[DriveNavi.exe の実行] をクリックしてください。また、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい] または [続行] をクリックしてください。
   ※ドライブナビゲーターが起動します。起動しないときは、ユーティリティー CD 内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。
2. [Q&A] をクリックします。
   ※「DVD 製品 Q&A」がパソコンにインストールされます。
3. パソコンのデスクトップにある BUFFALO「DVD 製品 Q&A」をダブルクリックします。

使用時の注意

以下の注意を必ずお守りください。

注意 あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- **本製品を長時間使用した場合は、一旦パソコンから取り外した後、数分経ってからお使いください。**
  本製品を長時間使用した後、そのまま書き込みなどを行うと、正常に動作しないことがあります。
- **カートリッジ付の DVD-RAM ディスクを使用する場合は、カートリッジからディスクを取り出して本製品にセットしてください。**
  カートリッジ付の DVD-RAM ディスクは、そのまま使用できません。
- **一部のウイルス対策ソフトウェアをお使いの場合、本製品の動作が不安定になることがあります。**

使いかた

画面で見るマニュアル「使いかたガイド」を参照してください。また、ソフトウェアのマニュアルやヘルプにも使いかたが案内されていますので、あわせてご覧ください。

画面で見るマニュアル「使いかたガイド」をご覧ください

使いかたガイドは、ユーティリティー CD を本製品にセットしたときに表示される画面から、[マニュアルを読む] をクリック→[添付ソフトウェアの使い方ガイドを見る] を選択して [開始] をクリックすると表示できます。

CyberLink DVD Suite について

ソフトウェアの概要

CyberLink DVD Suite は、ディスクの再生、ディスクへの書き込み、映像編集など各用途に適したソフトウェアを収録したソフトウェアパッケージです。ここでは、収録されたソフトウェアの概要を説明します。

注 意

- CPRM 保護されたディスクの再生、編集をするにはインターネット接続による認証が必要です。
- 「1 回だけ録画可能（コピーワンス）」データを録画した、または「ダビング 10」でムーブした CPRM 対応メディアの再生をデジタル出力（DVI/HDMI）するには、HDCP 対応 VGA カードと HDCP 対応モニターが必要です。

映像（映画など）ディスクの再生や、DVD レコーダーなどで録画したディスクを再生するには

＜PowerDVD(アップスケーリング対応)＞(Windows 7/Vista/XP のみ)

映像ディスクの再生ソフトウェアです。DVD-Video、市販の DVD レコーダーで録画したディスクの再生などを再生することができます。

パスワード保護（暗号化）したディスクの作成や、音楽 CD の作成、ディスクをコピーするには

＜Power2Go＞

データディスクや音楽 CD などを作成するソフトウェアです。作成するディスクを暗号化する機能も備えています。暗号化されたデータの読み出しにはパスワードが必要となるため、万が一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。

本製品を選択してお使いください。

映像をディスクに保存する（オリジナル映像ディスクの作成）、DVD レコーダーで録画した映像を編集するには

＜PowerProducer＞(Windows 7/Vista/XP のみ)

ビデオカメラで撮影した映像などから DVD-Video などの映像ディスクを作成できるソフトウェアです。パソコン上で、DVD ビデオレコーダーと互換のあるディスクの作成や DVD ビデオレコーダーで記録した映像の再生・編集などもできます。

映像の編集をするには

＜PowerDirector＞(Windows 7/Vista/XP のみ)

動画編集を行うソフトウェアです。

パソコンのデータを自動的にバックアップするには

＜PowerBackup＞

データのバックアップソフトウェアです。起動ドライブの環境をバックアップすることもできます。バックアップするデータを DVD や CD に保存したいときにお使いください。

パソコンのデータをディスクに保存するには

＜InstantBurn＞

ハードディスクや USB メモリーのようにファイル単位でデータを書き込むことができるソフトウェアです。

DVD/CD のレーベル面を印刷するには

＜LabelPrint＞

DVD や CD のレーベル面やジャケットを簡単な操作でレイアウトを編集し、印刷できるソフトウェアです。Labelflash にも対応しています。Labelflash とは、データ記録と同じレーザーを使ってレーベル面に写真・イラスト・タイトルなどを描画する技術です。Labelflash を使用するには、Labelflash 対応メディアが必要です。

傷や汚れのついたメディアの読み取りについて

本製品には、以下の機能があり、傷や汚れのついたメディアでも停止することなく読み取りを行うことができます。

注 意

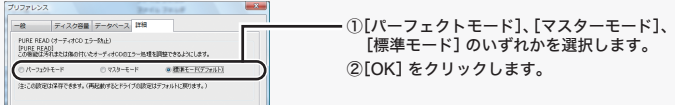
全てのメディアに対して読み取りを保証するものではありません。

PowerRead 機能（PowerDVD）

DVD-Video 再生時にメディアの読み取りエラーが発生した場合、再生を停止せずに次のデータを読み取る機能です。DVD プレーヤーなどで停止してしまうメディアでも、停止することなく再生を行うことができます。PowerRead 機能は、PowerDVD で再生しているときに自動的に ON になります。

PURE READ 機能（Power2Go）

音楽 CD の読み出しエラーが発生した場合、ディスク状況を自動判断、自動調整し、最適な再読み取りを行うことで、エラーデータによるデータ補間の発生を低減する機能です。よりオリジナルに近いデータの読み取りを行うことができます。PURE READ 機能は、Power2Go（ライティングソフトウェア）と連携して動作し、以下の 3 つの設定から選択できます。設定を変更する場合は、Power2Go の画面で「プロジェクト」-「プリファレンス」を選択し、画面上にある「詳細」をクリックしてください。

①[パーフェクトモード]、[マスターモード]、[標準モード] のいずれかを選択します。
②[OK] をクリックします。

- パーフェクトモード（PURE READ 機能 ON）
  音楽 CD 読み取り中に傷や汚れによるリードエラー発生した場合、自動調整を行い、再度読み取りを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、エラーを返し読み取り動作を停止します。同ディスクで再度読み取りを行う場合は標準モード、もしくはマスターモードに設定を変更して再度読み取りをしてください。
- マスターモード（PURE READ 機能 ON）
  音楽 CD 読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、自動調整を行い再度読み込みを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。
- 標準モード（デフォルト）（PURE READ 機能 OFF）
  音楽 CD の読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。

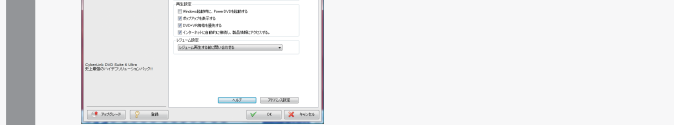
DVDを高画質（フルハイビジョン）で再生するには？【アップスケーリング機能（PowerDVD）】

この機能は、本製品の動作環境に加え、Intel Core Duo 1.5GHz 以上、AMD Turion 64×2 1.8GHz 以上の CPU 推奨です。

本製品には、DVD の映像を高画質で再生するアップスケーリング機能が搭載されています。アップスケーリング機能とは、DVD に記録されている SD 画像（480P）をフルハイビジョンの HD 画像（1080P）に変換する機能です。
DVD 映像を Blu-ray 映像に迫る高画質で鑑賞することができます。初期設定では、アップスケーリング機能は無効になっていますので、以下の手順で有効にしてください。

注 意

DVD の再生中は、設定を変更できませんので停止させてから、設定を行なってください。

1. [スタート]－[(すべての) プログラム]－[CyberLink DVD Suite]－[PowerDVD]－[PowerDVD] を選択します。
2.

   右下の ボタンをクリックします。
3.
   [ビデオ] タブをクリックします。
4.
   ①[ハードウェア加速を可能にする] のチェックを外します。
   ②[True Theater HD (High Definition) を有効にする] にチェックします。
   ③[OK] をクリックします。

※この画面で以下の設定もできます。

- 再生画面を滑らかにしたい（アップサンプリング機能）：
  [TrueTheater Motion を有効にする] にチェックします。
  （フレームレートを 24fps→60fps にします）
- コントラストや色を自動的に最適な環境に調節する
  （コントラストと色の最適調整機能）：
  [TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision-2) を有効にする] にチェックします。

以上で、設定完了です。

TurboUSBについて

本製品には、転送速度を高速化する「TurboUSB」機能があります。ここでは、TurboUSB 機能の注意や設定の変更方法、設定の確認方法を説明します。

■注意

- USB2.0 接続のみ対応です。USB1.1 には対応しておりません。
- 付属のユーティリティー CD に収録されている TurboUSB は、本製品専用です。他の製品は、有効になりません。また、他の製品に付属の TurboUSB で本製品の転送速度を高速化することはできません。

■設定の変更方法

[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[TurboUSB for（本製品の製品名)] を実行すると、有効 / 無効を切り替えられます。

※ [スタート] メニューで TurboUSB が表示されない場合は、表面の Step.3 の手順で、TurboUSB を有効にしてください。

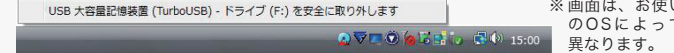
■設定の確認方法

● Windows 7 の場合

① マイコンピュータ上のドライブアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
② 画面の上にある [ハードウェア] タブをクリックします。
③「デバイス機能の概要」の「場所」に「TurboUSB」の文字が入っていれば、有効になっています。

● Windows Vista/XP/2000 の場合

タスクトレイのアイコン（ 、 ）をクリックします。表示されたメニューに「TurboUSB」文字が入っていれば、有効になっています。

USB 大容量記憶装置 (TurboUSB) - ドライブ (F:) を安全に取り外します
15:00

※画面は、お使いの OS によって異なります。

■TurboUSB 機能が不要となったら

TurboUSB 機能が不要になった場合は、[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[アンインストール] でアンインストールできます。

※ 本製品の TurboUSB をアンインストールすると、本製品以外の製品の TurboUSB 機能もアンインストールされます。本製品の TurboUSB 機能を停止させたい場合は、アンインストールせず無効に設定することをお勧めします。

CyberLink DVD Suiteのご質問、お問い合わせ先

お問い合わせ先 サイバーリンク株式会社
電 話 0570-080-110（一般電話）
03-5977-7530（PHS、一部 IP 電話など）
受付時間 10:00 ～ 13:00　14:00 ～ 17:00
（土日祝日、サイバーリンク社休業日を除く）
インターネット http://jp.cyberlink.com/support

※ 株式会社バッファローでは、CyberLink DVD Suite に関するお問合せは承っておりません。あらかじめご了承ください。
※ ソフトウェアのユーザー登録は必ず行ってください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

表示	意味
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

記号	意味
△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

- **強制** **本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。**
- **分解禁止** **本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
  火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
- **強制** **電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**
  差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- **電源プラグを抜く** **本製品の取り付け / 取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。**
  電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け / 取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。
- **強制** **電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**
  さわってけがをする恐れがあります。
- **禁止** **AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**
  海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
- **禁止** **レーザー光線を直視しないでください。**
  トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。
- **強制** **小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**
- **禁止** **濡れた手で本製品に触れないでください。**
  電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。
- **電源プラグを抜く** **煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
  そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **水場での使用禁止** **風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**
  火災になったり、感電や故障する恐れがあります。
- **電源プラグを抜く** **本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
  そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **禁止** **電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。**
  - 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
  - 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
  - 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
  - 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  - 極端に折り曲げないでください。
  - 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

  万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- **強制** **静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
  人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。
- **禁止** **次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**
  - 強い磁界、静電気が発生するところ
  - 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
  - ほこりの多いところ
    →故障の原因となります。
  - 振動が発生するところ
    →けが、故障、破損の原因となります。
  - 平らでないところ
    →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
  - 直射日光が当たるところ
    →故障や変形の原因となります。
  - 火気の周辺、または熱気のこもるところ
    →故障や変形の原因となります。
  - 漏電、漏水の危険があるところ
    →故障や感電の原因となります。
- **強制** **パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**
- **強制** **各接続コネクターのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクターには手を触れないでください。**
  故障の原因となります。
- **強制** **本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータを MO ディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**
  誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
  バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **禁止** **トレーに、メディア以外のものを載せないでください。**
  故障や火災の原因になります。
- **注意** **メディアは次の点に注意して大切にお使いください。**
  - 直射日光を当てないでください。
  - シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
  - 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
  - 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
  - 表面に手を触れないでください。両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
  - 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。
- **禁止** **ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。**
  本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。
- **禁止** **メディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。**
  - 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
  - メディア同士を重ねないでください。
  - レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
  - シールやラベルなどを貼らないでください。
- **禁止** **シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**
  本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
- **禁止** **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
  本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。
- **禁止** **本製品へのアクセス中は、本製品から接続ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。**
  データが消失、破損する恐れがあります。
- **強制** **定期的にレンズのクリーニングを行ってください。**
  本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。
- **禁止** **本製品へのアクセス中は、電源スイッチを OFF にしたり、システムをリセットしたりしないでください。**
  データが消失、破損する恐れがあります。
- **禁止** **トレーを出したまま放置しないでください。**
  内部にほこりが入り込んで、故障の原因になります。
- **注意** **トレーに手を入れ、挟まないように注意してください。**
  けがの恐れがあります。
- **禁止** **メディアを入れたまま移動しないでください。**
  本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- **強制** **本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**
  条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
- **禁止** **本製品の上に物を置かないでください。**
  傷がついたり、故障の原因となります。

付属ソフトウェアのサポートについて

付属ソフトウェアのサポートは各ソフトウェアメーカーにて承っております。
ソフトウェアのユーザー登録は必ず行ってください。
※ 株式会社バッファローでは、付属ソフトウェアに関するお問い合わせは承っておりません。あらかじめご了承ください。

外付DVDドライブ　らくらく！セットアップシート　　2009年11月18日　第2版発行　　発行／株式会社バッファロー